

# 学校だより

小川中学校

No. 20

平成26年10月24日

文責：校長 佐藤正則

## 明日、夏井祭！

1年生の合唱リハーサルの様子



明日、25日（土）は、いよいよ夏井祭です。春のスポーツ大会と並ぶ全校挙げての行事です。午前中は、合唱コンクール、午後は学年ごとの学習成果の発表と吹奏楽部の演奏です。このうち、生徒たちが最も燃えるのが合唱コンクールです。今年は、各学級、どんな歌声を披露してくれるのか楽しみです。

学校生活で、集団で何かを創り上げる喜びや感動を共有する体験は、人生にとってとても大切だと考えています。今回の夏井祭が、また一つこうした経験の機会となってほしいと願っています。

### 子どもたちや学校の様子をご覧ください！

### 11月1日～7日は「学校へ行こう週間」

公開日は、4日（火）、6日（木）、7日（金）の3日間です。11月5日（水）は、3年生の学力テストのため、公開しません。また、6、7日は、全学年、三者懇談が予定されていますので、5校時までの公開となります。

この週間は、保護者の方はもとより、ご親族や地域のどなたでも授業や学校施設を見学することができます。校舎は平成13年度に、体育館は平成20年度に新築されていて、配置も中の様子も、それ以前とは全く違います。

お出での際は、スリッパなどの上履きを持参されて、生徒昇降口からお入りください。

### 三者懇談に向けて！

11月6日（火）、7日（金）、10日（月）、12日（水）、13日（木）の5日間で予定で、全学年一斉に行います。お忙しい中、お世話になります。

1、2年生は、学校生活の様子を中心とした懇談に、3年生は合わせて進路選択の懇談となります。特に3年生は、進路について、併願なども含めて十分話し合っておいてください。



### 吹奏楽部出番です！

10月26日（日）の二つ箭山復興祭と11月1日（土）のJAまつりで演奏します。ぜひ、お聴きください。

# 大脳の前頭前野がマヒ？

## スマホと学習との関係

スマホ（スマートフォンの略）の利用時間と成績との関係について、文科省が毎年行っている全国学力学習状況調査結果で、スマホの利用時間が長いほど、成績が下がることが指摘されていました。その理由として、これまでは「スマホを長時間いじっているため、勉強時間が少なくなるから」と考えられていました。しかし、脳トレで有名な東北大学の川島隆太教授らの調査で、驚くべき違う理由が指摘されたのです。川島教授たちは、仙台市が毎年行っている標準学力検査や学力学習実態調査を受験した2万4000人の結果を分析しました。

### 勉強時間が長くても成績が落ちる！

平日の家庭学習時間	テストの平均点	
	スマホ利用1時間未満	スマホ利用4時間以上
2時間以上	75.0点	<b>57.7点</b>
30分未満	<b>63.1点</b>	47.8点

毎日、2時間以上家庭学習をしている生徒でも、スマホを4時間以上利用していれば、家庭学習が30分未満（やらないも含む）でスマホの利用が1時間未満の生徒より、成績が低いという結果が出ました。この傾向は、数学で最も顕著に表れ、他の教科でも同様の傾向が出たそうです。

つまり、家でちゃんと勉強している生徒でも、スマホを使う時間が長ければ、勉強したことをどんどん忘れるようになり、家で勉強しない生徒よりも成績が悪くなる、ということです。



川島教授は、その理由として次のように説明しています。

テレビを見たりゲームをしている時、脳の中の前頭前野という部分は、安静時以上に血流が下がり、働きが低下する。また、ゲームで長時間遊んだ後の30分から1時間ほどは前頭前野が麻痺したような状態となり、機能が回復しない。この状態で本を読んでも理解力が低下する。また、テレビの長時間視聴を3年続けた5～18歳の子の脳は、前頭前野の思考や言語を司る部分の発達が、そうでない子に比べ悪くなる。スマホを長時間利用することは、これらと同じで、脳が麻痺し（スマホ脳）、学習の効果が失われるのではないかと。

スマホ利用による睡眠不足の影響も調べたそうですが、睡眠に関係なく、寝ている子も寝ていない子も、スマホを長時間使っている子が点数を下げているとのことです。

### 長時間利用の規制を真剣に考えて！



子どもは大人の真似をします。また、人は楽しいものや快楽を得られるものに弱いものです。食事中も含めて、四六時中、スマホをいじっている大人をよく見かけますが、こうした様子を子どもは見ています。

大人も含めて、スマホ脳になる前に、スマホの長時間利用の規制を真剣に考えなくてはならないと思います。学校でも、いろいろな機会に話していきますが、ご家庭でもよろしくお願いします。

#### 前頭前野の役割？

記憶する、学習する、行動を抑制する、将来を予測する、コミュニケーションを円滑にする、など人間ならではの心の働きを司っています。